

Amazia

2019年9月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社Amazia（証券コード4424）

四半期業績として過去最高の売上高・営業利益を更新

単位：百万円

	2018年9月期 第1四半期		2019年9月期 第1四半期		前年同期比	
	金額	売上対比	金額	売上対比	増減金額	増減率
売上高	294	100.0%	575	100.0%	280	95.0%
売上総利益	101	34.4%	235	40.9%	133	132.2%
営業利益	7	2.6%	76	13.2%	68	898.3%
EBITDA	7	2.7%	77	13.4%	69	873.4%
経常利益	8	2.8%	62	10.8%	53	640.6%
四半期純利益	6	2.3%	53	9.3%	46	697.4%

当四半期の状況

【売上面】

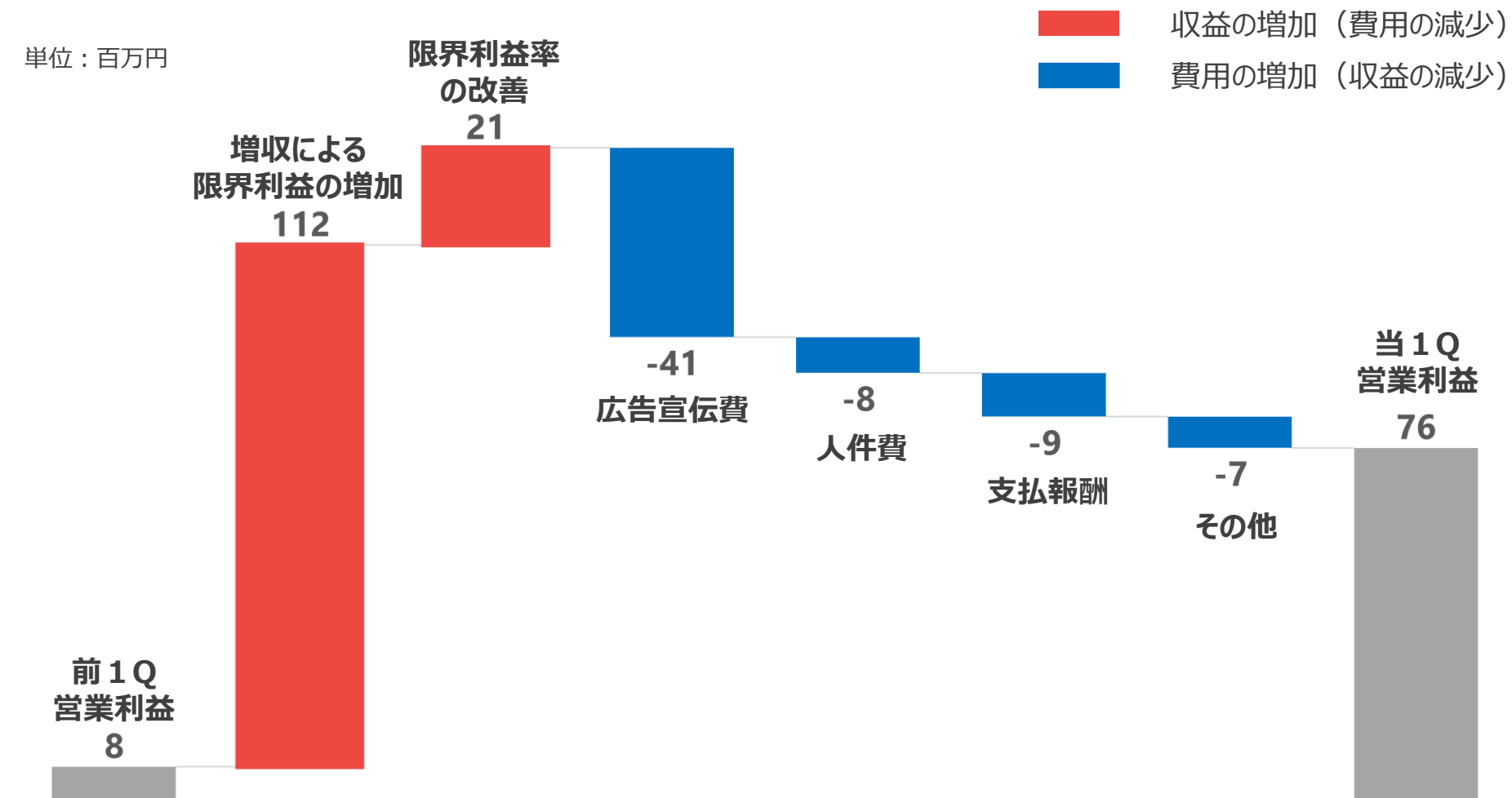
- MAU、課金収益KPI（決済率、ARPPU）、広告収益KPI（一日当たり広告収益、利用日数）の全てのKPIが好調に推移

【利益面】

- 売上増加、セールスマックスの変化により、著作権料率が低下し、売上総利益率が改善
- 売上増加により、固定費回収が進み、売上総利益率、営業利益率が改善

積極的な広告宣伝費を吸収し、過去最高の四半期営業利益を達成

単位：百万円

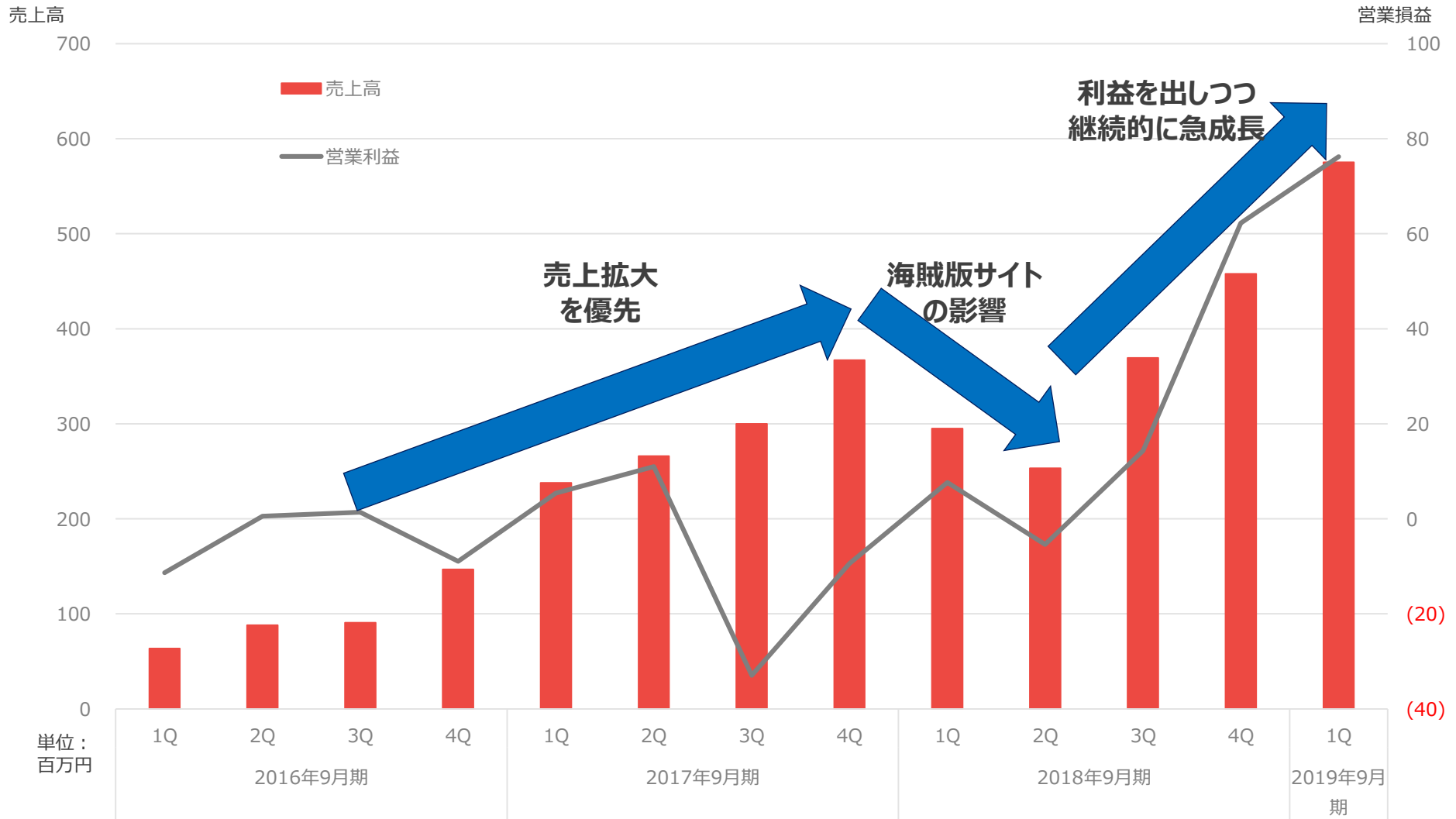


売上高・各利益において計画を上回り好調に進捗
積極的な広告宣伝費を吸収し、2Q累計計画の80%超の営業利益達成

単位：百万円

	2019年9月期			
	第1四半期	第2四半期累計	達成率	通期
	実績	計画		計画
売上高	575	1,077	53.6%	2,480
営業利益	76	92	83.7%	248
経常利益	62	79	82.3%	234
当期純利益	53	74	67.6%	181

前4Q比 売上高+25.6%、営業利益+22.5%と急成長を継続



マンガBANG!の拡大を柱に、海外展開・新規事業の早期立上げを目指す

2019年9月期 経営方針

マンガBANG!の拡大

- ・取引出版社を増やし、配信作品のジャンル・数の充実化
- ・積極的な広告宣伝費の投下による、ユーザー獲得に注力

IP創出・展開

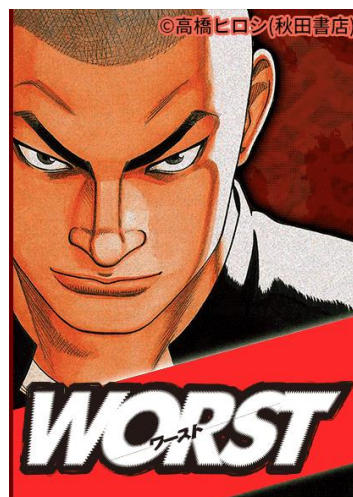
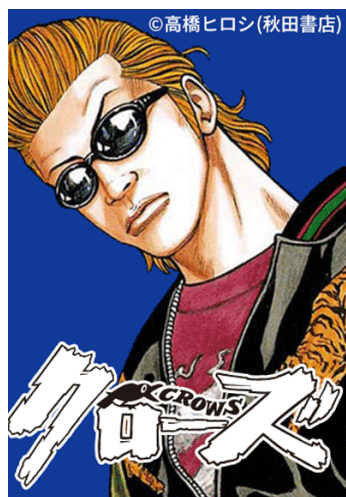
- ・「第7回ネット小説大賞」等のライトノベル作品をコミカライズ
- ・出版社と協業して新作の配信本数の増加を目指す

海外展開・新規事業

- ・将来性のある領域(地域・事業)で、Amaziaの優位性が活かせる市場、ビジネスモデルを調査※
- ※収益貢献は2020年9月期以降

当1Qの主なトピック

1 18/10～秋田書店と取引開始※



2 18/8～取引開始※した集英社作品の充実化



※「マンガBANG!」プレミアムコーナーでの新規取引になります。同ストアコーナーでは、それ以前から取引がございます。

2Q以降も取引先の増加により、作品ジャンル・作品数が増加見込み 新ジャンルの充実により、新規ユーザー層の獲得効果の期待大

当社を取り巻く環境

売上貢献 要因

- 「マンガBANG!」プレミアムコーナーにおいて、スクウェア・エニックスと取引開始
 - ドラゴンクエスト列伝 ロトの紋章
- 「マンガBANG!」プレミアムコーナーにおいて、継続的に人気タイトルを新規配信
 - GTO、GTO SHONAN 14DAYS、囚人リク等
- 作品ジャンルの増加（異世界転生系）

費用増加 要因

- 2Q以降、積極的な採用活動による人件費、採用費の増加見込み
- 堅調なユーザー獲得により、広告宣伝費が増加見込み
- 先行投資としてのIP創出費用が発生見込み
（出版社との協業作品制作、ライトノベルのコミカライズ等）

Appendix

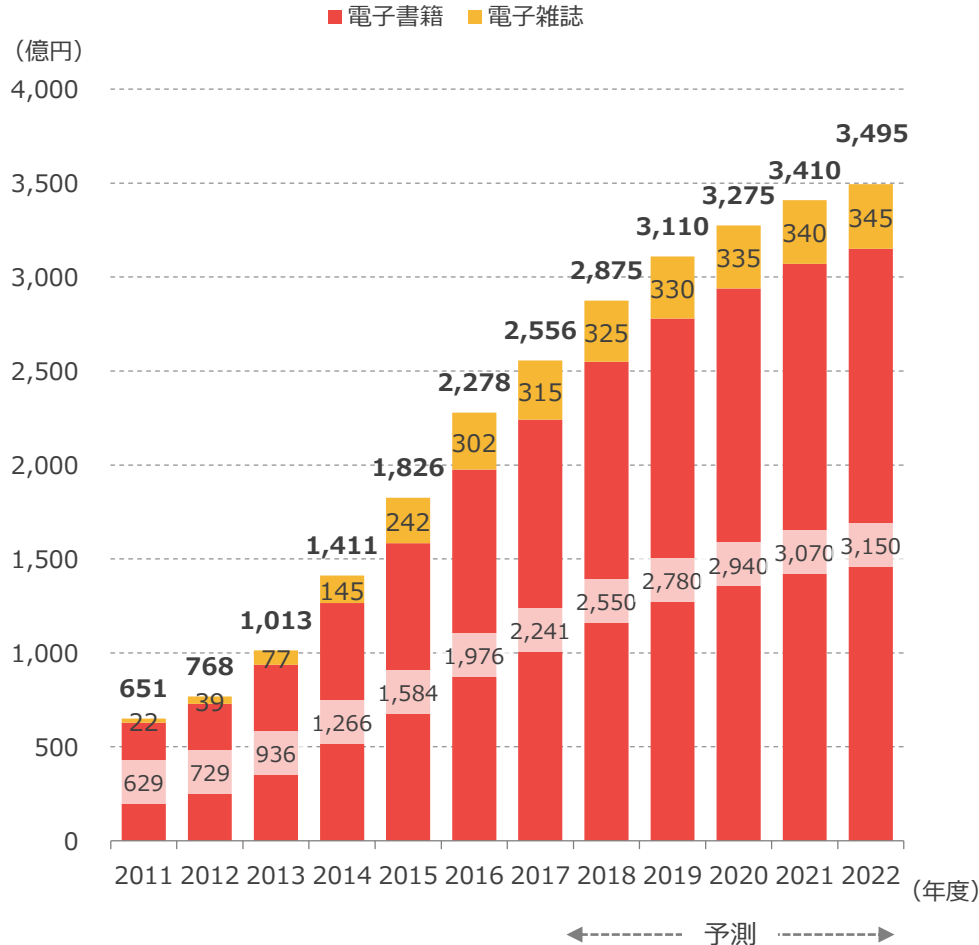
社 名	株式会社Amazia
本 社 住 所	〒150-0036 渋谷区南平台町2-17 日交渋谷南平台ビル2階（2019年1月本社移転）
設 立	2009年10月
資 本 金	3億3,409万円(2019年2月12日現在)
発 行 済 株 式 数	3,302,300株(2019年2月12日現在)
代 表 取 締 役 社 長	佐久間 亮輔
事 業 内 容	プレミアム型マンガアプリ「マンガBANG!」の企画・運営 マンガ投稿サービス「マンガEpic!」の企画・運営
従 業 員 数	14名（役員7名、アルバイト2名除く）（2019年2月12日現在）

単位：百万円

	17/9期				18/9期				19/9期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	237	266	300	368	294	254	369	458	575
変動費(※)	165	177	183	225	180	158	220	247	328
広告宣伝費	42	48	116	106	67	57	87	100	108
人件費	12	16	17	22	25	24	26	30	33
その他	12	12	15	21	13	17	20	18	28
営業利益	5	11	▲32	▲9	7	▲5	14	62	76
経常利益	5	10	▲32	▲10	8	▲4	14	59	62
当期純利益	5	11	▲28	▲12	6	▲5	11	81	53

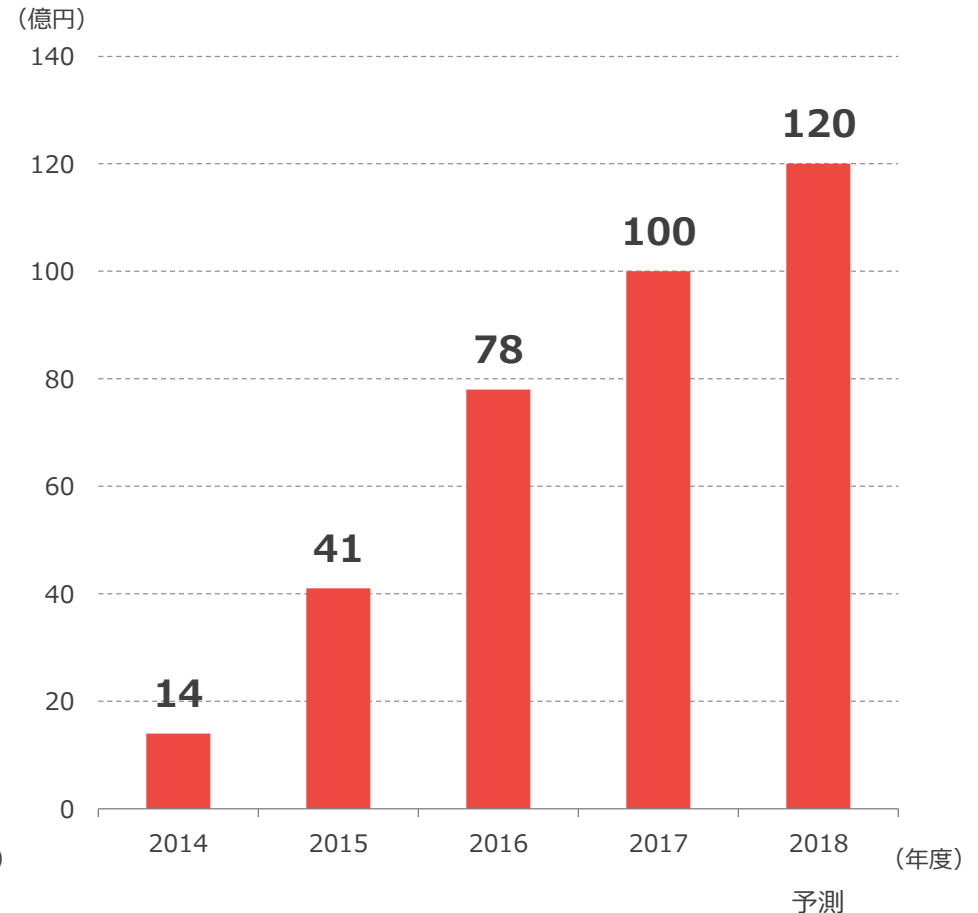
※ 変動費は、仕入高、【製】賃借料（サーバー代）になります。

電子書籍市場



出所：インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2018」

無料マンガアプリ広告収益市場



- 本資料に記載いたしました認識、戦略、計画などのうち、見通しは歴史的事実ではなく不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。
- 実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社の提供するサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
- 本書は、公認会計士又は監査法人の監査・四半期レビューの対象外です。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは百万円単位で切捨表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社に関する情報以外は、一般に公知の情報に依拠しています。